

平成30年12月10日

平成30年度JA都市農村交流全国協議会
情報・意見交換集会 開催要領

1. 趣 旨

JAグループでは創造的自己改革において、組合員の暮らしに関する様々な課題に対応するために、食や農を通じた「地域の活性化」に取り組んでいるところであります。農業・農村の「関係人口」の拡大に、正組合員と准組合員、地域住民との関係強化に、全国各地のJAが改めて都市農村交流を展開しています。JA都市農村交流全国協議会の今後の事業活動では、会員と地域の多様な組織との連携を支援していく計画です。

今回の研修は、「地域の活性化」に関するJAや各地域の最新事例を紹介し、JAグループはどのように取り組みどんな役割を果たすべきであるのか共有するとともに、漁業や地域の交流拠点との連携の可能性も探るなど、様々な情報交換の場とすることが狙いです。

2. 主 催

JA都市農村交流全国協議会
全国農業協同組合中央会
(株)農協観光
(一社)全国農協観光協会

3. 開催日程

大阪会場：平成31年2月21日（木）

東京会場：平成31年3月12日（火）

4. 開催場所

大阪会場：大阪駅前第4ビル 23階 株式会社リファレンス 会議室2302
〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4

東京会場：Nツアービル 8階 会議室
〒101-8613 東京都千代田区外神田1-16-8

5. 対象者

都市農村交流・食農教育等くらしの活動に取り組んでいるまたは今後取り組む予定の J A ・中央会・連合会の役職員、青年組織、女性組織等の組合員。交流活動に関心のある方。

6. 人員

各会場 30 名程度

7. 参加費用

(1) Aコース 第一部情報・意見交換集会＋第二部交流会

- ① J A 都市農村交流全国協議会会員 お一人様 6,000 円
- ② J A 都市農村交流全国協議会会員外 お一人様 11,000 円

(2) Bコース 第一部情報・意見交換集会のみ

- ① J A 都市農村交流全国協議会会員 お一人様 無料
- ② J A 都市農村交流全国協議会会員外 お一人様 5,000 円

※消費税、資料代、講師料含む（Aコースは交流会代も含む）

8. 研修申込締切日

大阪会場：平成 31 年 2 月 8 日（金）

東京会場：平成 31 年 2 月 28 日（木）

9. 申し込み方法

研修会システムまたは F A X ・ e-mail にてお申し込みください。

[全中研修会システム（URL：<https://gnw.zenchu-ja.or.jp/janet/>）]

（地域によって、下記のいずれかの対応が基本となります。）

(1) 中央会によるとりまとめを行う県下の会員等

県中央会が示す方法に従ってください。

※ J A から中央会の申込について、**別紙 4**「参加申込書」をご活用ください。

(2) (1) 以外（個々の会員による直接入力）

各会員が研修会システム上において、必要な事項を入力してください。

(3) (1) (2) 以外（全国機関等）

別紙 5「参加申込書」にて、F A X 又は e-mail にてお申し込みください。

※研修会システムについてご不明な場合は、都道府県中央会までお問い合わせ下さい。

10. 費用の決済方法

請求システムを活用して振替決済を行います。

引落とし実施予定日 大阪会場：平成31年3月27日（水）

東京会場：平成31年4月30日（火）

※研修会システム以外でのお申込みの場合は別途請求書を送付いたします。

本件に関するお問い合わせ

J A都市農村交流全国協議会事務局

（J A全中 くらし・高齢者対策課 担当：工藤）

TEL：03-6665-6241／FAX：03-3217-5073 E-mail：ja-koryu@zenchu-ja.or.jp

平成30年度 JA都市農村交流全国協議会
情報・意見交換集会 日程表

<第一部 情報・意見交換集会>

※大阪・東京会場ともに同じ内容を予定。

時間	次第	内容
12:30～13:00	受付	
13:00～13:10	開会・挨拶	
13:10～13:30	【情勢報告】 JA都市農村交流全国協議会事務局	都市農村交流についての情勢を報告
13:30～14:30	【基調講演】 「サバを愛して地域活性」 株式会社鯖や代表取締役/ さば料理専門店「SABAR」経営者 右田 孝宣 氏	サバの普及に飲食店経営、漁業、食育を通じて取り組む右田氏から、一つの食材にこだわった地域活性化のポイントや、福井県小浜市や企業との連携事例をお話いただけます。
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:30	【事例報告①】 「あるくる大作戦！！地域活性化の取り組み」 佐野農業協同組合（栃木県） 総合企画課 係長 飯田 智行 氏	地域住民や組織と連携し、交流拠点となる観光農園に加え、栃木県佐野市に既にある地域資源を磨き上げ都市農村交流に取り組むJAの担当者から、実践事例と今後の計画を報告いただきます。
15:30～15:45	休憩	
15:45～16:30	【事例報告②】 「食で繋げる、ひと・まち・暮らし」 リュウキンカの郷 代表 本田 節 氏	熊本県球磨郡あさぎり町で、地元の食資源を活かし、「まちづくり・人づくり・元気づくり」を目的とする交流施設リュウキンカの郷が誕生した経緯や、地域で女性農業者が出来る取り組みを報告いただきます。
16:30～16:50	【事例報告③】 「地域交流プロジェクト」 株式会社農協観光 営業企画部 地域交流推進課 課長 石井 唯之 氏	JAと連携した食農教育イベントや都市農村交流事業、行政の補助事業を活用したJAの取り組み等、全国各地の事例を報告いただきます。
16:50～17:00	質疑応答・閉会	

※研修内容については、一部変更になる場合もあります。ご了承ください。

< 第二部 交流会 >

時 間	次 第	内 容
18:00～18:10	開会・挨拶乾杯	
18:10～19:20	<p>【交流会】 さば料理専門店 S A B A R</p> <p>○大阪会場（2/21） 大阪福島店 （大阪市福島区福島 2-2-2 1F）</p> <p>○東京会場（3/12） 東京銀座店 （東京都中央区銀座 8 丁目 3-1B 1）</p>	<p>協議会の会員同士が、各活動のノウハウや悩み・課題などを共有し、今後の取り組みへの活力やヒントを得られる交流の機会とします。</p> <p>※非会員の参加も歓迎 ※食事・飲み物の用意あり。 ※基調講演の右田氏が経営するお店です。右田氏が同席するわけではありません。 ※座席数に限りがありますので、受付は先着順とさせていただきます。</p>
19:20～19:30	閉会	

【概要紹介】

【基調講演】

「サバを愛して地域活性」

株式会社鯖や代表取締役／さば料理専門店「SABAR」経営者

右田 孝宣 様 (みぎた・たかのぶ)

報告概要

サバにこだわり、サバを誰よりも愛する熱い思いをもって、食育活動、飲食店経営、養殖事業などを展開。サバへの低い期待値をいい意味で裏切り、成功した秘訣は「たくさんのファンを作れたから」。地域活性化につながるブランディングや商工業等と連携するポイントをお話しいただく。

プロフィール

1974年大阪府生まれ。大阪市立淀商業高校卒業後、鮮魚店に勤める。97年、オーストラリアに渡り、回転寿司店に就職し、事業拡大に貢献した。2000年に帰国し、04年に大阪府内に居酒屋をオープン。人気メニューのサバ寿司の販売に乗り出し、07年に「鯖や」を設立して社長に。とろさば料理専門店「SABAR」を展開するほか、サバ博士としてサバの普及や食育に取り組む。著書に『サバへの愛を語り 3685万円を集めた話 クラウドファンディングで起業、成功する方法』日経BP 2016。

【事例 ①】

「あるくる大作戦！！地域活性化の取り組み」

佐野農業協同組合（栃木県） 総合企画課 係長

飯田 智行 様 (いいだ ともゆき)

報告概要

栃木県佐野市では中山間地域の空き家増加や農業人口の減少が進む一方、佐野厄除け大使やアウトレット施設への観光客、行政が推進するクリケットに関連した海外からの旅行者が増加している。

J A佐野は、地域住民や多様な組織とも連携し、交流拠点となるイチゴ狩りを主体とした観光農園の機能強化に加え、佐野市の中山間地域の地域資源を磨き上げ都市農村交流に取り組み、課題解決につなげている。地域活性化をリードし、農家所得の向上に貢献するJ Aの仕組みづくりを映像も交えて報告いただく。

【事 例 ②】

「食で繋げる、ひと・まち・くらし」

リュウキンカの郷 代表

本田 節 様 (ほんだ・せつ)

報告概要

高齢化・少子化・過疎化などの課題を抱える地域を、食を通じて活性化させている。「もったいない」をキーワードに、食育、女性の活躍、都市農村交流、視察研修や学生インターン受入等の事例を報告いただく。

プロフィール

熊本県球磨郡相良村の専業農家で生まれ育ち、地元のJAに就職。結婚後、ボランティアに取り組む。地産地消“食”を地域資源とした拠点「郷土の家庭料理 ひまわり亭」での経験を踏まえ、平成29年に食の魅力を発信する交流施設「リュウキンカの郷」を立ち上げ、次世代の農業農村を担う人材の育成を行っている。全国を講演等で飛び回っている元気なお母さん。

【事 例 ③】

「地域交流プロジェクト」

株式会社農協観光 営業企画部地域交流推進課 課長

石井 唯之 様 (いしい・ただゆき)

報告概要

「食」と「農」を活用した地域交流プロジェクトを、全国のJAや地域の協議会組織等と連携して展開している。食にこだわった食農教育イベント、JAが主体となった都市農村交流事業、行政の補助事業を活用したJAの取り組み等、全国各地の事例を報告いただく。

※報告内容については、一部変更になる場合もあります。ご了承ください。

大阪会場 案内図

2月21日(木) 大阪駅前第4ビル 23階 株式会社リファレンス 会議室2302



住所：大阪府大阪市北区梅田1丁目11-4 大阪駅前第4ビル23階

- * JR大阪駅 中央口より徒歩約8分
- 阪急梅田駅 徒歩約5分
- 阪神梅田駅 徒歩約10分
- 大阪市営地下鉄谷町線東梅田駅 8, 9番出口直結
- 大阪市営地下鉄御堂筋線梅田駅 出口14より徒歩約7分

東京会場 案内図

3月12日（火）Nツアービル8階会議室



住所：東京都千代田区外神田1-16-8

* J R秋葉原駅 電気街口より徒歩約2分

【本件に関するお問い合わせ】

J A都市農村交流全国協議会事務局

(J A全中 J A支援部 くらし・高齢者対策課 担当：工藤)

TEL：03-6665-6241/FAX：03-3217-5073

E-mail：ja-koryu@zenchu-ja.or.jp

平成30年度 JA都市農村交流全国協議会 情報・意見交換集会

参加申込書

平成 年 月 日

JA→各JA中央会

JA 中央会
部
課御中 FAX :

下記のとおり申込みをします。

団体名					
	<input type="checkbox"/> JA都市農村交流全国協議会会員 <input type="checkbox"/> JA都市農村交流全国協議会非会員 いずれかに○印をお付け下さい				
連絡 担当者	部署名	役職名	氏名		
	電話番号		FAX番号		
	E-mail :				
参加者	部署名	役職名	氏名(ふりがな) 性別・年齢	Aコース	Bコース
1			男・女 ()才		
2			男・女 ()才		
3			男・女 ()才		
会場				大阪	東京

※AまたはBコース、大阪または東京の該当する欄に「○」を記載ください。

(JA会員等の皆様へ)

※本申込書は、都道府県中央会を経由して研修会の申込みを行う場合に限りご使用ください。

(都道府県中央会のご担当者様へ)

※都道府県中央会から全中への報告は、「研修会システム」上より行っていただきますよう、
お願い申し上げます。

平成30年度 JA都市農村交流全国協議会 情報・意見交換集会
参加申込書

平成 年 月 日

JA都市農村交流全国協議会事務局 宛て

(JA全中 暮らし・高齢者対策課内)

組織名： _____

部署名： _____

担当者名： _____

1. (ふりがな) 氏 名 性 別・年 齢	男 ・ 女 () 才
2. 所 属	部 課
3. 役職名	
4. 緊急連絡先 (現在の勤務地)	住 所： TEL： FAX： E-mail： 携帯電話：
5. 参加費用 (要領7参照)	会場 大阪 <input type="checkbox"/> / 東京 <input type="checkbox"/> Aコース [情報・意見交換集会+交流会] 会 員 <input type="checkbox"/> 6,000円 非会員 <input type="checkbox"/> 11,000円 Bコース [情報・意見交換集会] 会 員 <input type="checkbox"/> 無料 非会員 <input type="checkbox"/> 5,000円
6. 備考	

注1：締め切り 大阪：2月8日(金) / 東京：2月28日(木)

注2：この申込書は、本研修会の事務局・講師・参加者等に配布する名簿の作成のみに
使用します。